

Job Plugin Electronica-Tune について

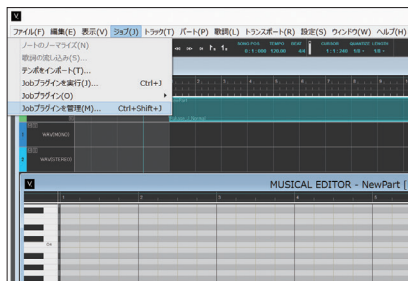
Job Plugin Electronica-Tune は、ボーカルにピッチ補正を極端にかけたような特徴的な音高変化を非常に簡単に表現することができます。

本 Job Plugin は、VOCALOID4 Editor ならびに VOCALOID4 Editor for Cubase にてご使用いただけますので以下の使用方法をご参照の上、楽曲製作にご利用ください。

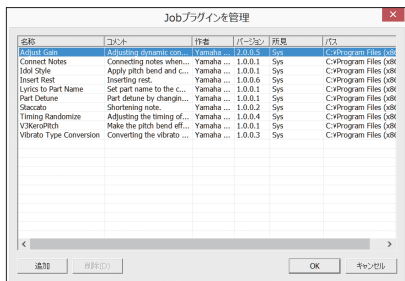
使用方法について

「JobPlugin」フォルダー内の「Electronica-Tune」フォルダを、コンピューターの任意の場所に配置します。（ご使用の際は、「Electronica-Tune」フォルダ内の「bin」フォルダと「Electronica-Tune.lua」の両方が必要ですのでご注意ください。）
なお、配置する場所（パス）には、日本語や環境依存文字（例：①、I、(株)）、セミコロン [;]、クエスチョンマーク [?] など特殊文字を含まない場所をご指定ください。

1. VOCALOID4 Editor もしくは VOCALOID4 Editor for Cubase を立ち上げ、「ジョブ」メニューから「Job プラグインを管理」を選択します。

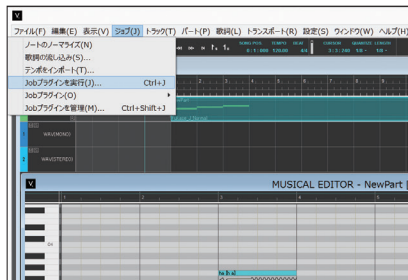


2. 「Job プラグインを管理」画面で、先ほど配置した「Electronica-Tune」フォルダ内にある「Electronica-Tune.lua」を追加します。

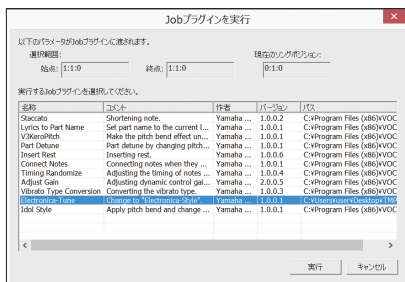


以上で「Electronica-Tune」を使用する準備は整いました。
次に、ミュージカルエディターで、Electronica-Tune を実行したいパートを開き、ピアノロール画面を表示します。

3. 「ジョブ」メニューから「Job プラグインを実行」を選択します。



4. VOCALOID4 Editor または VOCALOID4 Editor for Cubase に登録されている Job Plugin の一覧が表示されます。ここで「Electronica-Tune」を選択して実行します。（このとき、ノートを選択した状態で実行すると、選択した範囲のノートにのみ適用することができます。）



使い方の説明は以上です。本 Job Plugin を、クリエイティブな楽曲の制作にぜひご活用ください。